

令和7年度 保健体育科 授業改善推進プラン

大田区立雪谷中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・体力や運動能力に自信がなくても、楽しく運動することができる生徒が増えた。
- ・学年が上がるごとに、授業への取り組み姿勢が向上している。

(2) 課題

- ・主運動には一生懸命取り組むが、準備運動への取り組み方に課題のある生徒がいる。
- ・男子の技能向上のため、目的に応じて男女共修と別修を使い分けるなどの工夫が必要。

2 昨年度（現状）の結果分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
小学校で学習した内容を振り返りながら、より専門的な内容に取り組むことができた。技能については、段階を踏んで、さらに高めていく必要がある。	指摘されたことを理解することはできるが、改善策を考えることに課題がある。また、自分自身で課題を発見することができるようになると、より良い活動につながると考える。	意欲が高い生徒が多く、授業のめあてを意識して活動することができる。 また、集合や整列など、集団でのルールを守ることができている。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
小学校で学習した内容をさらに高めることができた。また、初めて学習する種目についても、知識・技能を身につけることができた。今後は、球技において集団での技能を高めていくことが課題である。	自分自身の課題を見つけ、解決していく力が高まったと感じる。今後は、仲間と協力しながら解決していく力を高めることが課題である。	授業の流れを把握し、主運動やグループワークはもちろん、準備や片付けにも積極的に取り組むことができた。 今後は、消極的な仲間の意欲を引き上げるような関わり方を身につけていく事が課題である。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
多くの種目について、知識、技能ともに高めることができている一方、持久力の低さが目立つ。	めあてを意識して活動する生徒も多いが、意識せずに取り組む生徒も少なくない。また、仲間との活動も苦手な生徒が多い。	運動に対する意欲は高いため、めあてを意識して活動できたときには、技能の習得がとても早い。

3 授業改善のポイント（観点別）

（1）第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
健康管理に配慮しながら、運動時間をできる限り長く取れるような授業展開を心掛ける。 ペアや男女グループでの活動を設けたりスモールステップを設定することで、できる喜びを感じながら楽しく授業に取り組むことができるようにする。	自分や仲間の動きの中から良いところを見つけ、意見交換をしたり、課題に対してアドバイスしたりする場面を設ける。その中で動きの課題を見つけ、解決策を相談することで自分の言葉で表現できるようにする。	また、より一層意欲を高めていくために、ペアやグループでの活動の場を増やし、生徒同士が教え合うことができる環境を整える。

（2）第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目的に応じて男女共修と別修を使い分け、誰もが技能の向上を図れるよう工夫する。 引き続き各単元でスモールステップを設定しつつ、集団でのめあてを設定する場面を増やしていく。	ICT を活用しながら、運動の分析と改善ができるようにする。その中で、自分や仲間の良い所や改善点を発見し、自分たちで解決する方法を考える場面を増やしていく。	生徒が意欲的に授業に取り組むことができるよう、課題を明確にした授業を展開する。その中で、仲間と一緒に活動する場面を増やし、積極的に声かけしていくようにする。

（3）第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
持久力を高める補助運動を毎時間取り入れる。また、技能をより一層高めていくために、生徒の教え合いが活発になるよう授業を進めていく。	段階的に目標設定をさせる事で、すべての生徒が目標を意識しやすいようにする。その中で、同じ目標の仲間と協力して解決していけるよう、場の設定を工夫していく。	生徒が意欲的に活動できる目標を設定する。また、グループでの活動を増やし、生徒同士で声を掛け合い、常にめあてを意識できるようにする。